



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第175号 (平成 29 年 6 月 26 日)



( 目 次 )

- 1 <林野庁プレスリリースから>  
「平成 29 年度 学校の森・子どもサミット」の参加者募集について
- 2 <会員の皆様へのお願い>  
「森林教育実践者」Web アンケート調査への協力のお願い
- 3 <コラム> 森林環境教育の現場から(116)
- 4 <森林・林業白書から> 企業による森林づくり活動
- 5 <樹木のことなど93> ナノハナとアブラナ
- 6 <イベント情報>  
◆水都おおさか森林の市 2017「森林と木材！ フォトコンテスト」作品募集  
☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>  
 《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》  
 《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》  
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



- 
- 1 <林野庁プレスリリースから>  
「平成 29 年度 学校の森・子どもサミット」の参加者募集について
- 

1 概要

学校の森・子どもサミット実行委員会は、全国から集まった児童たちによる身近な自然や森林資源・教材等を活用した体験学習の発表と、先生や有識者による意見交換などを通じて学校における森林環境教育の輪を全国へ広げていくことを目的に「学校の森・子どもサミット」を開催しています。

「平成 29 年度 学校の森・子どもサミット」は、平成 29 年 7 月 25 日(火曜日)～27 日(木曜日)に愛知県豊田市及び三重県大台町で開催されます。

このうち、平成 29 年 7 月 25 日(火曜日)に愛知県豊田市で行われる「子どもたちの体験学習発表会」と「森林環境教育に関する分科会」の参加者を募集します。

2 開催日時及び場所

日時:平成 29 年 7 月 25 日(火曜日) 12 時 30 分～16 時 30 分  
 会場:豊田市福祉センターホール  
 所在地:愛知県豊田市錦町 1-1-1

3 主な内容(予定)

- 小学生による活動事例発表(12 時 40 分～14 時 35 分)

全国から集まった小学生が、身近な自然や森林資源・教材等を活用した体験学習について発表します。

<活動事例発表を行う小学校>

- ・ 北海道幌加内町立 朱鞠内(しゅまりない)小学校
  - ・ 岩手県岩泉町立 門(かど)小学校
  - ・ 東京都八王子市立 由木西(ゆぎにし)小学校
  - ・ 神奈川県相模原市立 広陵(こうりょう)小学校
  - ・ 長野県大町市立 大町南(おおまちなみ)小学校
  - ・ 山梨県甲斐市立 敷島北(しきしまきた)小学校
  - ・ 愛知県豊田市立 上鷹見(かみたきみ)小学校
  - ・ 三重県名張市立 薦原(こもはら)小学校
  - ・ 三重県大台町立 宮川(みやがわ)小学校
  - ・ 岡山県真庭市立 中和(ちゅうか)小学校
  - ・ 熊本県菊池市立 菊池北(きくちきた)小学校
- 合計 11 小学校

○ 森林環境教育を考える分科会(14時45分～16時30分)

・ 分科会 1

「先生のための実践アクティブラーニング」

簡単にできる森林環境教育カリキュラムの作成を行います。こちらの分科会は、豊田市新任教員研修に位置づけられています。

一般の方の参加も可能です。

・ 分科会 2

「子どもたちと地域がつながる森林体験活動交流会」

豊田市、恵那市、岡崎市からそれぞれの地域で活動する方たちを迎え、森と子どもたちの多様な関わり方を報告します。

分科会 1 か 2 のいずれかに参加できます。

なお、サミット 2 日目・3 日目、参加小学校児童は三重県の大台町に移動し、大台町の森林にて「森の健康診断」のプログラムや、大杉谷自然学校でのキャンプ・炊飯・川遊びなどを通じて、「森林と人との関わり」を学び、体験・交流活動を行います。

4 募集予定人数

森林環境教育に関心のある方 500 名

申込要領、問合せ先等の詳細については、次の URL のホームページをご覧ください。

URL: [http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson\\_ryokka/170613.html](http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/170613.html)

---

2 <会員の皆様へのお願い>

「森林教育実践者」Web アンケート調査への協力をお願い

---

岩手大学から以下のアンケート協力が届いています。  
できるだけ多くの会員の皆様のご協力をお願いします。

○ 子供や市民を対象に森林体験活動等に取り組んでおられる皆様へ

岩手大学大学院修士課程学生の泉館と申します。

現在、私が所属する岩手大学の森林・環境教育研究室では、子どもや市民を対象に森林に対する気づきや理解を促進する講演、授業や体験活動を実践しておられる森林教育実践者の方々を対象に、現在の活動内容や現在の活動に繋がる過去の体験について把握するための Web アンケート調査を企画し、各方面に協力をお願いしています。

つきましては、皆様にもアンケートへの回答をお願いいたします。

アンケートへの回答は、以下の URL からインターネットを通じて 15 分程度で回答できる内容です。無記名で個人が特定できる入力項目もありませんので、是非ご協力ください。

アンケートへの入力・送信は 7 月 10 日を目途にお願いします。

アンケート入力画面 URL : <https://goo.gl/forms/h0GC8PoQVNj5avSG2>

問い合わせ先:

〒020-8550 岩手県盛岡市上田 3 丁目 18-8 岩手大学大学院連合農学研究科内  
調査責任者 比屋根 哲 電話&FAX:019(621)6245 hiyane@iwate-u.ac.jp  
調査担当者 泉館 菜月(修士課程 2 年) メール izumi17@iwate-u.ac.jp

---

### 3 <コラム> 森林環境教育の現場から(116)

---

最近始まった小学校の活動以外にも「森のようちえん」の活動も継続しています。北海道もやっと季節が夏に向かってきました。(と言ってもまだホウノキの花が咲き始めた頃ですが!)森のようちえんでは子どもたちが主体です。「川(小川)の先まで行ってみるぞ～」と元気な男子4人が裸足で川を下り始めました。途中膝ぐらいの深さになると、「これはダメだ危ない! 他の方法はないか～」危険は自分たちで判断します。そして、課題は仲間と話し合って考えます。「あそこが浅いから渡れるぞ!」と少し後戻りして向こう岸に渡ります。でも、行く手にはまた難所・・・「これはダメだ! 別の道を通ろう!」逆戻りして川の上の藪を通ることになりました。「ヤッタ～先に進むぞ～」「うっわ～キレイ～」「あっ!」子どもたちが立ちすくんでいる場所は・・・2本の小川が合流して、小さな滝になっている場所。木々の木漏れ日の中、別世界のように美しい場所にたどり着きました。この感動は一生心に残るでしょうね!(柳原も!)ここでは、文科省が進めるアクティブ・ラーニングが普通に行われています!

(森林インストラクター 柳原 高文)

---

#### 4 <森林・林業白書から> 企業による森林づくり活動

---

各種インターネット・サービス事業を手掛ける楽天株式会社は、「イヌワシ」の生息地の回復や、気候変動対策を目的として森林整備に取り組んでおり、平成 28(2016)年 12 月末現在、29 県で 30 の森林整備に関する協定を締結し、全国各地で活動を展開している。

活動内容は、多様な生物保全のための間伐、小面積皆伐、放置された里山の回復、間伐材の利用による地域産業の活性化、森林環境教育の促進など多岐にわたる。これらの取組には、同社のグループ会社を含めた約 1,300 の企業が参画しているほか、個人単位でも参画できる仕組みが構築されている。同社は、今後も全国で森林づくり活動に向けた取組を進めることとしている。

(平成28年度森林・林業白書 事例から)

---

#### 5 <樹木のことなど96> ナノハナとアブラナ

---

菜の花の菜は食べられる野菜のことです。食用の野菜の花という意味になります。よく見かける菜の花には、アブラナやセイヨウアブラナのほか、セイヨウカラシナや長野県北部で、漬物用に栽培されるノザワナも菜の花があります。また、チンゲンサイ、カブやハクサイ、チリメンハクサイなども黄色い花を咲かせるので菜の花と呼ばれます。このため、アブラナ科アブラナ属(Brassica)の花を総称して、食用、観賞、修景用に用いられるものを菜の花と呼んでいることになります。実際には、川岸や荒地で見かけるものには、在来のアブラナは少なく、多くのものは、セイヨウアブラナかセイヨウカラシナが多いようです。この 2 種は区別がしにくく、セイヨウアブラナの花は大きく花序にまとまって花がつけますが、セイヨウカラシナの花は長く伸びた花序にばらばらとついた感じに花を咲かせます。また、セイヨウカラシナの葉には目立つぎざぎざ(鋸歯)がありますが、セイヨウアブラナには、ぎざぎざがありません。セイヨウアブラナの葉っぱの葉柄の付け根が茎を抱かないこと、セイヨウカラシナの葉っぱの葉柄の付け根は茎を抱くことでその違いがわかります。

(子ども樹木博士ニュース「質問コーナー(堀内孝雄先生)」から)

---

#### 5 <イベント情報>

##### ◆水都おおさか森林の市 2017「森林と木材！ フォトコンテスト」作品募集

---

##### ◆水都おおさか森林の市 2017「森林と木材！ フォトコンテスト」作品募集

林野庁近畿中国森林管理局では、10 月 22 日(日)に開催される水都おおさか森林の市 2017 と共催し、森林が社会にもたらす様々な恩恵や木材利用への関心・理解を深めていただくことを目的として、「あなたが感動し、伝えたい森林での発見！ 森林での体験!木材との触れあい！」をテーマとした、フォトコンテストを開催します。

募集部門は三つ

- ◎森林で見つけた動植物(昆虫・動物・植物)
- ◎森林での体験・活動(里山整備、森林環境教育など)
- ◎木材と人との触れあい(木材や木製品・木造建築などと人との触れあい)

募集期間 8月31日(木)まで、当日消印有効

提出内容

募集部門毎1作品まで  
デジタル写真(2枚一組又は3枚一組)と作品へのコメント・メッセージ(200字程度)

入賞作品の表彰式・発表会

平成29年10月22日(日) 13時～14時  
近畿中国森林管理局「森林の市」会場にて行います  
詳細及び応募票は、HPをご覧ください。  
[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/information/h29syasin.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/h29syasin.html)  
お申込み・お問合せ先  
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75  
林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター  
【担当】自然再生指導官 池田克司  
TEL 050-3160-6745 FAX 06-6881-2055  
メールアドレス [kc\\_fureai@maff.go.jp](mailto:kc_fureai@maff.go.jp)  
ふれセン HP [http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/)

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録  
いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====

☆ 事務局から

=====

今回、岩手大学大学院連合農学研究科の比屋根哲教授を通じ、森林教育実践者を対象とするWebアンケートへの協力依頼がありました。当森林環境教育ネットワークの会員の皆様の中には、様々な形で森林環境教育を実践されている方々も大勢いらっしゃると思います。是非、アンケートへのご協力をお願いいたします。(K)

~~~~~

☆☆☆ご投稿等はE-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp) までお寄せください。

[編集発行]

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル6F  
一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 森林環境教育ネットワーク事務局  
TEL:03-5840-7471 FAX:03-5840-7472 E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp)  
URL: <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

~~~~~

